



株式会社 弁釜

2024 年度 環境経営レポート

(対象期間 2023 年10月1日～ 2024 年9月30日)



認証番号0012822

作成日： 2024年12月2日

目 次

項 目	ページ
あいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価(次年度取組み含む)	7～13
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	14
代表者による全体の評価と見直し・指示	14

【北海道ローズデリカ株式会社】



【株式会社 弁釜 札幌八軒工場】



【株式会社 弁釜 函館工場】



【株式会社 弁釜 旭川工場】



□ごあいさつ

株式会社弁釜は「豊かな食文化を創る、味の弁釜」の理念のもと事業を展開しており、食品製造業を営んでいる私たちは、原材料である食糧資源や地下資源を大切に使い、豊かな自然環境を将来の世代へ継承することを責務と考え、事業活動における環境負荷の低減を図る為に、全社一丸となって自主的・積極的に環境保全活動に取り組んで参ります。

環境経営方針

〈環境経営理念〉

経営方針「ムダを無くし業務効率の向上を推進いたします」の項目を遵守する為に、本業である食品の生産を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。

安全で安心していただける商品を効率よく、無駄なく、タイムリーにお客様に提供することが当社が一番の環境対策と考えて、従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

〈環境保全への行動指針〉

重点課題	1. 創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。
	2. 廃棄ロスをなくす等廃棄物の発生抑制につとめ、食品リサイクル率の向上に努めます。
課題	3. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
	4. 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
	5. 洗剤や殺菌剤など化学物質の適正管理に努めます。
	6. 安心して安全な商品を効率よくタイムリーにお客様にお届けします。
	7. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。

環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

制定日：2018年9月30日

改定日：2023年9月30日

代表取締役社長 山口 彰久

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社 弁釜
代表取締役社長 山口 彰久

(2) 所在地

本社・札幌工場 北海道札幌市市厚別区厚別東5条1丁目3番20号
旭川工場 北海道旭川市工業団地3条3丁目2番16号
函館工場 北海道北斗市追分3丁目2番10号
札幌八軒工場 北海道札幌市西区八軒10条西9丁目1-50
関連会社：北海道ローズデリカ株式会社
北海道札幌市厚別区厚別東5条1丁目3番30号

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 生産本部 専務取締役 土井 政則 TEL：011-897-2288（代表）
担当者 施設管理課 課長 遠藤 哲志 TEL：011-809-5508

(4) 事業活動

弁当、寿司、惣菜、調理麺、調理パン、デザート企画・開発及び製造

(5) 事業の規模

売上高 18,863,421 万円 (2024年10月)

	本社・札幌工場	旭川工場	函館工場	札幌八軒工場	北海道ローズデリカ株式会社	合計
従業員	名 703	名 341	名 319	名 139	名 202	名 1,704
延べ床面積	m ² 9,747	m ² 8,172	m ² 3,432	m ² 3,996	m ² 3,503	m ² 28,850

(6) 事業年度

10月1日～9月30日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：株式会社 弁釜
対象事業所：本社・札幌工場
旭川工場
函館工場
札幌八軒工場
関連会社：北海道ローズデリカ株式会社

2018年度登録
※2025年1月 登録審査予定
2021年度登録
2021年度登録
2018年度登録

事業内容： 弁当、寿司、惣菜、調理麺、調理パン、デザート企画・開発及び製造

□事業や製品(商品)の紹介

(株)弁釜 札幌工場



北海道ローズデリカ(株)



(株)弁釜 函館工場・旭川工場

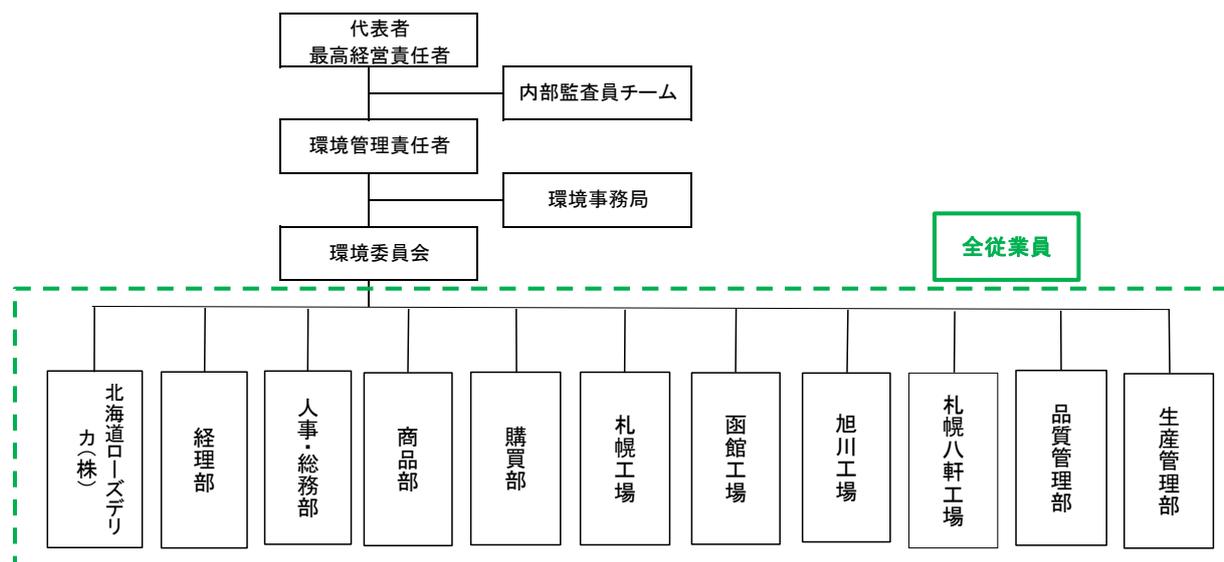


(株)弁釜 札幌八軒工場



□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2023年10月1日



役割・責任・権限	
代表者(社長) 代表取締役社長 山口彰久	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し、指示 環境経営レポートの承認
環境管理責任者 生産本部 専務取締役 土井政則	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
環境事務局 責任者：遠藤哲志	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、環境委員会の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
環境委員会 (各部門長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営計画の審議 環境活動実績の確認・評価
部門長・工場長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
内部監査チーム	<ul style="list-style-type: none"> 環境に関する内部監査の計画 環境に関する内部監査の実施・報告
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□環境経営目標及びその実績

項目	年度	基準値	2024年		2025年	2026年
		(基準年)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	6,249,868	6,124,871	6,074,050	5,999,874	5,874,876
	基準年度比	2023年	98%	97%	96%	94%
都市ガスによる二酸化炭素削減	kg-CO2	9,544,503	9,353,613	9,533,824	9,162,723	8,971,833
	基準年度比	2023年	98%	100%	96%	94%
LPガスによる二酸化炭素削減	kg-CO2	263,056	257,795	250,730	252,534	247,272
	基準年度比	2023年	98%	95%	96%	94%
A重油による二酸化炭素削減	kg-CO2	1,219,374	1,194,987	1,252,369	1,170,599	1,146,212
	基準年度比	2023年	98%	103%	96%	94%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	82,625	80,972	83,947	79,320	77,667
	基準年度比	2023年	98%	102%	96%	94%
二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	17,359,426	17,012,238	17,194,920	16,665,049	16,317,861
製造数量当り原単位排出量 (kg-CO2/食)	kg-CO2	0.171	0.168	0.163	0.164	0.161
一般廃棄物の削減	kg	358,129	350,966	379,359	343,804	336,641
	基準年度比	2023年	98%	106%	96%	94%
産業廃棄物の削減	t	3,928	3,849	3,785	3,771	3,692
	基準年度比	2023年	98%	96%	96%	94%
食品廃棄物の再資源化率の向上	%	100%	100%	100%	100%	100%
水道水の削減(井水を含む)	m ³	624,820	612,324	586,436	599,827	587,331
	基準年度比	2023年	98%	94%	96%	94%
化学物質の適正管理	行動目標(次項目による)					
環境に配慮した物品の購入	行動目標(次項目による)					
環境に配慮した生産活動	行動目標(次項目による)					

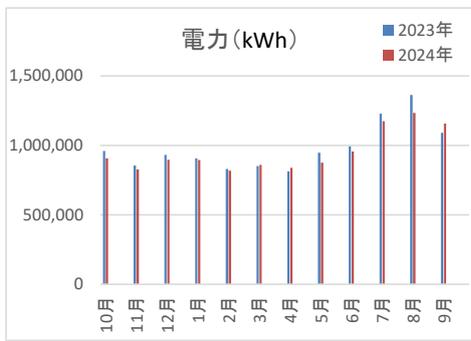
※二酸化炭素排出係数 0.531 kg-CO2/kWh 電力会社の調整後の係数(北海道電力2023年度)

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標:○達成 ×未達成

活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	今年度の電気使用量につきましては、電力使用によるCO2排出量が基準年度比で3%減という結果になりました。各工場設備変更や空調温度の適正化・不要照明の消灯、照明LED化への取組による結果と思われまます。課題として、1月～4月と冬季期間での電力使用量増加が多く見られるため原因と対策が必要と考えます。
・保管温度・空調温度の適正化	○	
・不要照明の消灯及び周知徹底	○	
・不使用機械の電源OFF	○	
・照明のLED化と自動照明の検討	○	



取組紹介欄

【函館工場】



【コンプレッサー使用機器】

おむすびホット成型機

◎省エネ診断結果報告より、コンプレッサー設定圧力を7kから3kに変更し、使用電力量の削減に努めております



使用コンプレッサー

【札幌工場】



調味料・野菜処理室系統のエアコン更新工事の実施

【旭川工場】



空調温度を一元管理しこまめな調整による使用電力の削減

【旭川工場】



室外機に対し、散水設備の設置夏場温度上昇を抑え、節電に努める

【北海道ローズデリカ】



1F洋菓子包装室 2F和菓子包装室LED照明LED照明器具に交換(96本交換)

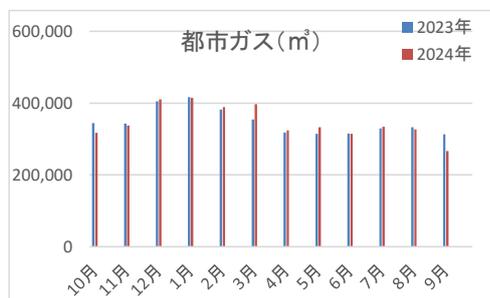
【函館工場】



製造現場・および事務所LED照明LED照明器具に交換(389本交換)

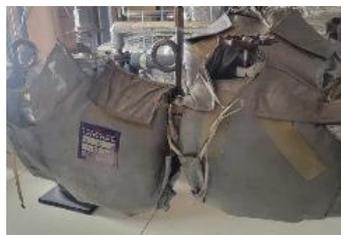
kWh	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2023年	959,229	855,262	932,319	907,483	830,467	851,185	812,440	947,290	991,859	1,228,082	1,363,784	1,090,597
2024年	906,928	826,150	897,376	895,369	818,064	860,254	838,894	874,875	956,792	1,173,574	1,233,736	1,156,877

都市ガスによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	今年度の都市ガス使用量につきましては、都市ガスによるCO2排出量が基準年度比で100%と横ばいの結果となりました。来年度においては、メーカー点検による蒸気トラップ・安全弁・減圧弁の交換を実施しボイラー稼働率を下げ、都市ガス使用量の削減に努めます。また、推奨商品による蒸気使用量の増加を各月で確認と対応が出来る仕組み作りに努めます。
・ガス使用機器の稼働時間適正化	○	
・蒸気・温水配管の修理及び管理	○	
・温水温度の適正化	○	
・蒸気トラップの点検	○	
・食品ロスの削減	○	



取組紹介欄
【旭川工場】

蒸気配管ジャケット取付け
放熱に対し取り組みを行い
都市ガス使用量削減に
努める



蒸気漏れ箇所の選定
交換保守に努め
都市ガス使用量削減に
努める



【札幌工場】

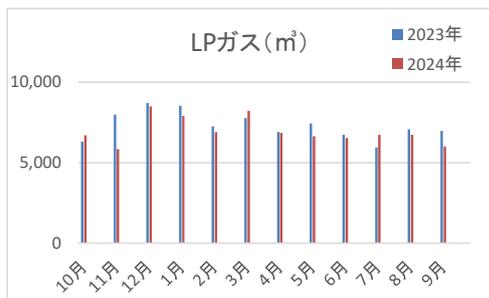
メーカー点検による
安全弁・減圧弁不動箇所調査と
不動箇所の調査と
順次交換対応による
都市ガス使用量削減に努める



m³	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2023年	344,073	342,807	404,941	416,263	382,337	354,057	317,615	314,795	315,113	329,632	332,786	313,429
2024年	317,310	337,167	410,410	414,854	388,696	396,686	324,038	332,495	314,472	334,154	326,509	266,394

LPガスによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	LPガスのCO2排出量については目標数値を達成しておりますが、今後においても炊飯設備及び加熱ガス機器の生産効率の向上を図り、適正運用をして、LPガスの使用量削減に努めます。
・加熱処理工程の適正管理	○	
・食品ロスの削減	○	

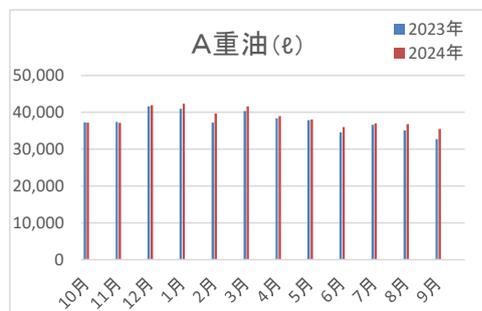
取組紹介欄 **【函館工場】**



LPガス炊飯機を新設、生産効率向上により、LPガス削減に努める

m³	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2023年	6,313	7,977	8,704	8,535	7,263	7,774	6,908	7,432	6,732	5,944	7,079	6,967
2024年	6,705	5,835	8,491	7,900	6,895	8,226	6,849	6,636	6,528	6,724	6,734	5,999

A重油による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	A重油使用の蒸気ボイラーについて、先日、受診したエネルギー最適化診断結果を参考に、A重油使用量の削減のため、生産機器及び付帯設備の適正管理に努め、改善方法等についても検討していきます。
・ボイラの空気比の適正化	○	
・蒸気・温水配管の修理及び管理	○	
・温水温度の適正化	○	
・蒸気トラップの点検	○	



取組紹介欄

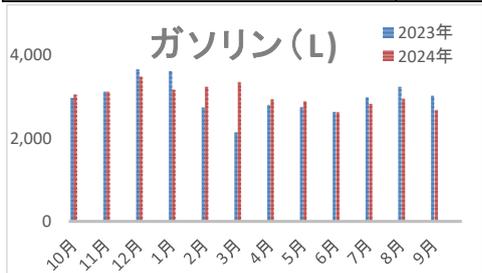


【函館工場】

蒸気ヘッダーのバルブ類を保温し、放熱を抑制し省エネに努め、ボイラーについては、2台を交互運転とできる限り、始動時のパージによる損失の減少に努め、A重油の削減に努める

ℓ	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2023年	37,287	37,358	41,576	40,969	37,207	40,385	38,403	37,841	34,565	36,626	35,060	32,738
2024年	37,188	37,108	41,923	42,356	39,692	41,637	38,939	38,066	36,021	37,005	36,765	35,492

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	・ガソリン使用量につきましては、年間CO2排出量が2%増加しました。コロナ減少に伴い、商品擦り合わせなど会議関係の再開による社用車使用時間が増えていることも要因と考えられます。今後において、ご指摘対応を減少させるためより良い商品製造に努め、日々適正管理をしていきます。
・ご指摘（お客様対応）の削減	○	
・エコドライブ・不要なアイドリングストップの取組	○	



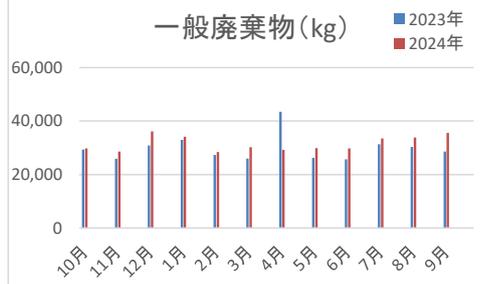
取組紹介欄



【札幌工場】 社用車については、順次、ハイブリット車に変更しております

ℓ	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2023年	2,967	3,110	3,651	3,605	2,734	2,139	2,790	2,738	2,629	2,978	3,228	3,020
2024年	3,041	3,107	3,470	3,157	3,224	3,332	2,926	2,870	2,616	2,814	2,937	2,665

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	各工場前年比にて減少傾向となっているが、札幌工場のみ15%増加となっている 今後については、ライナーレスラベラー機導入による減少と、ごみの分別の徹底に努め廃棄量減少に努めます。
・分別の徹底	△	
・カミナシ (DX) 推進による、印刷物の削減	○	
・ライナーレスラベラー機導入による、紙ごみの削減	△	



取組紹介欄

【札幌工場】

工場入場時の入室チェック帳票を、カミナシアプリ (iPad) に変更し帳票削減ペーパーレス化を推進する



【札幌工場】

ライナーレスラベラー機の導入(9月8台新規導入)



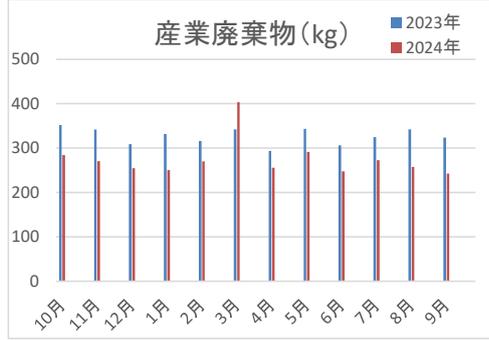
【札幌八軒工場】

ライナーレスラベラー機の導入(4台新規導入)



kg	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2023年	29,376	25,906	30,873	32,945	27,354	25,978	43,458	26,261	25,693	31,341	30,347	28,598
2024年	29,810	28,621	36,146	34,182	28,440	30,206	29,265	29,883	29,806	33,509	33,875	35,616

産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	不適合ロスの発生原因を明確にし対応することにより、廃棄量の削減に取組めた また、見込み過剰ロスを減らすため、各工場取組み減少が見られた今後においても、廃棄物の分別を徹底し、廃プラの削減に努めます。
・不適合による廃棄量の削減	○	
・分別の徹底	○	



取組紹介欄

【札幌八軒工場】

廃プラについては、弊社にて圧縮処理をして、経費削減に努めております



kg	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2023年	352	342	309	332	316	342	294	343	306	325	342	324
2024年	284	271	255	251	270	403	256	291	248	273	258	243

【札幌工場】

産業廃棄物保管場所、および一般廃棄物保管場所についても掲示板を設け、分別の徹底を図る



【函館工場】

産業廃棄物保管場所、及び一般廃棄物保管場所について、掲示板を設置



食品廃棄物の再資源化率の向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	生産工程における不適合にに対し要因分析を行い、発生原因を排除するほか、 原材料管理の徹底に努め、デットストック発生量を削減します。
・原料の賞味期限切れロスの削減	○	
・加工ロスの削減	○	
・歩留修正による廃棄量の削減	○	
・不適合による廃棄量の削減	○	

取組紹介欄

【函館工場】食品残渣の養豚飼料用処理施設



食品残渣につきまして、養豚の餌として、
95℃まで加熱処理(飼料化)をして使用しております

「食品廃棄物の発生量及び食品循環資源の再生利用の実施率について」

	発生量	目標	実施率
生ごみ	1339 t	100%	100%
廃油	219 t	100%	100%
生汚泥	132 t	100%	100%
脱水汚泥	305 t	100%	100%
合計	1996 t	100%	100%



食品残渣削減 活動中の掲示

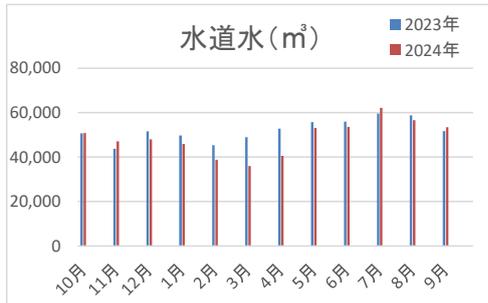
食品廃棄物	項目	再資源化 実施率	
	①発生量	2428.8	①実際に発生した食品廃棄物等の量(発生量=③+④+⑤+⑥+⑦)
	②発生抑制量	0.0	②発生抑制の効果として減少した食品廃棄物等の量
	③再生利用の実施量	2123.7	③再生利用過程に投入された食品循環資源の量
	④熱回収の実施量	0.0	④熱回収に投入された食品循環資源等の量
	⑤減量の実施量	305.1	⑤減量の効果として減少した食品廃棄物等の量
	⑥再生利用等以外の実施量	0.0	⑥再生利用等以外の過程に投入された食品循環資源の量
	⑦廃棄物としての処分の実施	0.0	⑦廃棄物としての処分された食品廃棄物等の量
再生利用等の実施率	100%	$(②+③+④ \times 0.95^{*1} + ⑤) / (①+②)$	

当該年度の基準実施率(%)	95.4%	食品リサイクル法で規定する事業者ごとの再生利用等の実施率
---------------	-------	------------------------------

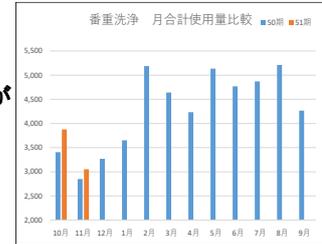
水道水の削減(井水を含む)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	2024年度の水使用量につきましては、基準年比で6%の削減となりました。今後においては生産及び清掃時の無駄な水の使用を削減するように、日々の管理を徹底していきます。
・各所 使用量実績を日々見える仕組み作り	○	
・各所 使用量変動における原因調査の実施	○	
・番重洗浄機のポールタップ作動状況の定期点検	○	

取組紹介欄

【札幌工場】



番重洗浄機において、機器不備が発生した際に気が付けない状態であったため、日々実績数字が見える仕組みへ変更



【札幌八軒工場】

各処理室にて「節水」の掲示し注意を促しています



【旭川工場】

各所で必要供給量の見直しを図り、元バルブにて調整を実施



【函館工場】

各処理室にて「節水」の掲示し注意を促しています



m³	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2023年	50,728	43,789	51,576	49,714	45,397	48,942	52,822	55,798	55,959	59,587	58,786	51,725
2024年	50,883	47,133	48,031	45,952	38,820	35,974	40,607	53,188	53,601	62,167	56,657	53,424

化学物質の適正管理	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・リスクアセスメントの見直し・実施	○	SDSの更新、リスクアセスメントの見直し実施 各工場ごとに、化学物質管理責任者の選定・保護具着用管理者の選任し、 両管理者の連携した活動を実施出来た。
・簡易SDS掲示、GHSラベル表示	○	
・保護具着用管理責任者の選定	○	
・化学物質管理者と保護具着用選任者が連携した活動	○	

取組紹介欄 【札幌工場】



小分け容器薬剤

工場内使用薬剤へのGHS表記

環境に配慮した物品の購入	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・LED化	○	蛍光灯からのLED照明への変更推進 高効率エアコンへの入替
・燃費のよい自動車の採用	○	
・事務用品の環境配慮品の導入	○	
・省エネ性能の高い設備の選択	○	

取組紹介欄

【札幌工場】

【札幌八軒工場】

エアコン室外機の更新



環境に配慮した生産活動	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
不良率低減	○	食品安全会議を通じて顧客クレーム削減を進めてるが、目標値までの減少には及ばなかったため、今後については商品の返品状況を 集計し返品率低減に繋げて行きます。
稼働率向上	○	
顧客クレーム削減	○	
廃棄率削減	○	

課題を解決しチャンスを活かす取組	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・企業PRによる顧客獲得	○	人員確保については、中国人実習生の継続的な採用を実施出来ている。 新商品・販売数拡大については、札幌工場に新たにガス充填機を導入することにより、長鮮度商品推奨アイテム数増加が出来た。
・新製品・商品開発	○	
・事業拡大のための資金調達、人材確保	○	
・働き方改革	△	
・生産設備導入による省人化対策検討	△	

取組紹介欄

【札幌工場】

窒素・炭酸ガスを充填し
鮮度延長を可能とした商品
販売増



【非製造部門 環境への取り組み】

部署名	環境への取組内容	効果
商品部	・ゴミの分別の徹底・・・ラボ試作等で生ゴミや容器ゴミの分別 ◎生ゴミ、◎容器プラスチック、◎紙、ゴム、布類 ※工場別と同様	環境対応に少しでも貢献できる
	・ペーパーレス化・・・WEB会議によるペーパーレス化促進、裏紙活用 SEJ会議、NDF会議、各種商談などのWEB化	経費削減にもつながる
	・省エネへの対応・・・ラボ、調理作業などの無駄なエネルギーの使用をなくす意識をもつ(電気、水道、ガス、照明など)	
購買部	食品原材料の廃棄ロスを削減 (開封期限延長による軽減、原材料集約による軽減など) 地域食材使用による廃棄ロスの削減	食材廃棄ロスの削減
品質管理部	I 食品安全に関する取組 1. 細菌検査合格率向上 2. 内部監査による食品安全方針遵守 II 表示作成システムの導入	食中毒事故未然防止 不適合品の削減 リコール事故未然防止 作業の効率化
人事・総務部	新卒・中途採用 10名以上 勤怠管理システム導入	ペーパーレス化
経理部	①リース物件の買取500万円、再リース買取400万円、②実習生経費管理自動化、③若手社員教育、残業時間削減△122時間	電気使用減

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
食品衛生法	営業許可、販売禁止食品、表示事項
道路運送車両法	車両の大きさ・重量、乗車の保安基準
道路交通法	車両の大きさ・重量、通行制限
道路交通法	車両からの積載物のはみ出し、安全運転管理者等
札幌市食品衛生条例	衛生責任者の届け出、管理基準、衛生教育、施設の管理、衛生情報
食品リサイクル法	食品廃棄物、リサイクル
容器包装リサイクル法	容器包装使用状況、再商品化の方法、帳簿の記載と保管期間
廃棄物処理法	一般廃棄物、収集運搬業、中間処理業、産業廃棄物（廃プラ、廃ガラス、廃油等）、管理表
騒音規制法	空気圧縮機、送風機
振動規制法	空気圧縮機
北海道地球温暖化防止対策条例	対策計画、実績報告書の提出
道路運送車両法第58条	車両の大気汚染防止及び騒音防止対策確認
省エネ法	使用量の届け出、エネルギー管理統括者の設置届、中長期計画の作成・提出等
水質汚濁防止法	煮湯設備、洗浄設備、油の流出
浄化槽法	浄化槽
下水道法・札幌市下水道条例	除害施設
消防法（危険物）	危険物の保管、厨房設備、ボイラー、変電設備、気体燃料使用器具、スプリンクラー他
フロン排出抑制法	簡易点検、定期点検（7.5kW以上の冷凍庫及び50kW以上のエアコン）漏洩報告
グリーン購入	環境物品等の選択購入
顧客要求事項	品質管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

食品リサイクル法の事業者ごとの基準実施率は達成（95%）しています。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年12月1日

当社は、安全で安心していただける商品を効率よく、無駄なく、タイムリーにお客様に提供することが当社における一番の環境対策と考えて、従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

食品製造業は、多くの食材・資源を調達・使用し環境への負荷は少なくありません。環境負荷を見直し、経営力向上と組織活性化を図り環境経営を目指します。

2018年10月からエコアクション21「環境経営システム」に取組み約6年が経過し、北海道経済としてはまだまだ完全回復の兆しが見えない中、従業員各人については環境及びコスト意識に変化が見えられ、生産現場でのこまめな節水や、生産機器のアイドルタイム削減による、エネルギーロス減少などの取り組みが感じられ、設備的にも全社生産棟のLED照明化による省エネやCGSの廃熱利用による再エネ活用など目標達成に向かい、努力しております。また、本年度からは旭川工場に対象事業所を拡大し、全社の取り組みとして更なる環境改善を行い、今後も引き続き、環境経営方針、環境経営目標・経営計画の周知徹底を進め、従業員全員参加の下、環境意識の更なる向上を図り、結果に繋がる活動を実践いたします。

- | | | | |
|-----------|-------------------------------|--|------------|
| 環境経営方針 | <input type="checkbox"/> 変更なし | <input checked="" type="checkbox"/> 変更あり | 期の終わり9月見直し |
| 環境経営目標・計画 | <input type="checkbox"/> 変更なし | <input checked="" type="checkbox"/> 変更あり | 実績を踏まえて見直す |
| 実施体制 | <input type="checkbox"/> 変更なし | <input checked="" type="checkbox"/> 変更あり | |